

実施計画事業名		保育サービス提供事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		教育部 こども課		課長(主幹)名	渡邊 祐子		
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉				
	政策	2	子どもたちの健全な成長を支援します				
	施策	3	総合的な子育て支援体制の整備を促進します				
	関連施策						
現状と課題	市立保育所は、従来3施設を運営してきた(民間保育所は0箇所)が、こどもの数が大きく減少する中、民間幼稚園への併設を進めながら、サービスの向上を図ってきた。現在、市立保育所は2施設、私立保育所4ヶ所であり、父母の就労形態の変化等に対応するため一時保育・延長保育を実施しており、待機児童もほとんどない状況である。なお、へき地保育所は4ヶ所で運営(委託)している。						
目的	父母が子育てをしながら仕事を続けられ、また乳幼児が健やかに育つこと						
5ヶ年展開の	市立保育所は当面の間、2施設の運営を継続するが、入所希望者の推移状況をみながら、港保育所の閉所を含め、今後のあり方について検討する。 私立保育所と連携を図りながら、待機児童が生じないよう運営を行っていく。						
成果指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	市内保育所の定員総数 (うち市立保育所)		人	目標	410(200)	410(200)	410(200)
説明	市内保育所(市立保育所、私立保育所)の定員の合計数 ※()内は、うち市立保育所の合計定員数 ※各年5月1日			実績	410(200)	410(200)	
活動指標	名称		単位		21 年度	22 年度	25 年度
	市内保育所の入所者数(うち市立保育所)		人	目標	350(180)	370(180)	370(180)
	説明	市内保育所の入所者数(うち市立保育所) ※各年5月1日			実績	348(142)	356(130)
	延長保育利用延べ時間数		時間	目標	2800(1000)	2800(1000)	2800(1000)
	説明	市内保育所の延長保育が利用された年間延べ時間数(うち市立保育所)			実績	2762(825)	2665(927)
	一時保育利用回数(うち市立保育所)		回	目標	500(50)	500(50)	500(50)
	説明	市内保育所の一時保育の回数(うち市立保育所)			実績	597(24)	465(12)
			目標	-	-	-	
			実績				
事業費の実績		単位	21 年度 (決算)	22 年度 (評価年度決算見込)	23 年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	139,429	105,588	109,725		
	国庫支出金	千円	0	0			
	道支出金	千円	8,892	0			
	起債	千円	0	0			
	その他	千円	33,845	46,991	43,834		
	一般財源	千円	96,692	58,597	65,891		
	この事業にかかる職員数	人/年	12.88	11.68	11.68		
人件費(B)	千円	89,207	79,319	79,319			
計(A+B)	千円	228,636	184,907	189,044			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 次世代育成支援行動計画において実施することとした保育サービスのうち、未実施分について検討を継続する。
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 公立保育所の効率的な運営に努めるとともに、病児病後児保育等多様化する保育ニーズに対応したサービスの実施について引き続き検討を行う。 へき地保育所については、今後も指定管理者制度により、地域の実情を反映した運営を行う。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	b	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし						
	<2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--